













施工に関する安全上のご注意

- 施工する前に、この「施工に関する安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
- ここに示した **△注意** は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動するかを確認の上、使用方法をお客様に説明してください。
- この説明書は、お客様へ保管していただくように依頼してください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


	してはいけない禁止の表示です
	行為を強制する表示です
	

△注意

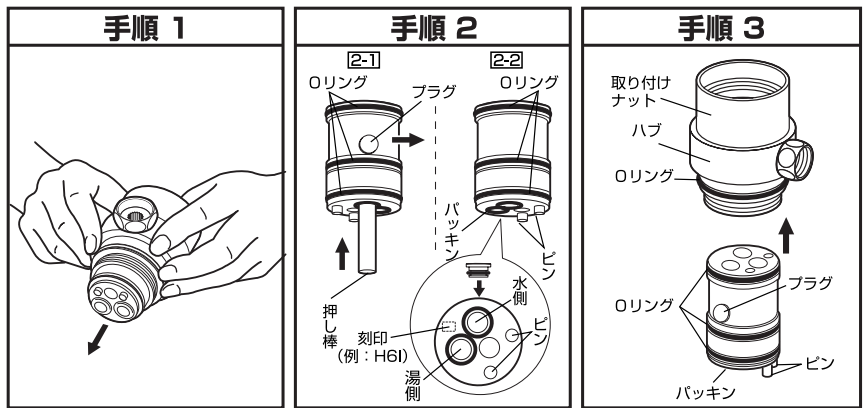
	●凍結の恐れのある所への設置はお避けください。 ※水洩れの恐れがあります。		●施工前後に止水栓またはバルブの開放状態のまま分岐水栓・水栓金具等の分解・取り外すような行為は行わないでください。 ※傷害・物損・故障・水洩れ等の恐れがあります。		●分岐水栓および同梱されている分岐コックは絶対に分解しないでください。 ※故障・破損の恐れがあります。
	●止水栓またはバルブの開放は必ず分岐コックに給水ホースを接続した後、行ってください。		●水栓金具のカートリッジは落としたり、分解しないでください。 ※水洩れ・取り付けができなくなる恐れがあります。		●水栓本体のカバーナット、カートリッジ押さえを取り外し、取り付けを行う時には必ず水栓本体が回っていたり、配管がねじれていない事を確認してください。
	●分岐水栓を取り付ける場合、必ず専用の工具等を使って取り付けてください。 ※専用の工具以外で、取り付けされると傷をつ		●分岐水栓取り付け完了後、水栓本体と分岐水栓との間から水洩れが無いかよく確認してください。		●分岐水栓の改造・仕様変更は行わないでください。 ※分岐水栓・食器洗い機等の故障につながる

給水仕様から給湯仕様への変換方法

※出荷時は水が出るようになっています。お湯をご使用になる場合は以下の手順で行ってください。（水をご使用になる場合はそのままお使いください）

	分岐水栓パーツ分解（変換）時、内面及び表面又はパッキン等にキズを付けないでください。※水洩れの恐れがあります。
--	---

- 手順1: シングル分岐水栓の外周（ハブ・取り付けナット）を手で持ち、シングル分岐の本体を上からゆっくり押し出す。（注意：リングを破損させないように）
- 手順2:
- 2-1: 同梱してある押し棒を下から差し込み、プラグを押し出す。
 - 2-2: 抜き取ったプラグを水側（シングル分岐の本体底面に刻印のない方）に差し込む。
- 手順3: シングル分岐水栓の外周（ハブ・取り付けナット）を手で持ち、シングル分岐の本体を下からゆっくり挿入する。（注意：リングを破損させないように）



	プラグに取り付けているパッキンは取り外さないでください。（紛失すると施工ができなくなる恐れがあります。）		浄水器・整水器等をご使用の場合は、必ず給水接続でご使用ください。 ※機器が故障する場合があります。
	手などにケガをする恐れがあります。十分注意して取り付け、部品の組み替え作業を行ってください。		食洗機の耐熱温度以上に設定された給湯機をご使用の場合は、必ず給水接続でご使用ください。 ※食器洗い乾燥機の故障の原因となります。

給水ホース接続方法

（使用中、給水ホースがはずれた場合の再接続手順です。）

※使用中に給水ホースがはずれた場合、緊急止水弁で水洩れを防ぎます。この時に緊急止水弁に水圧がかかり動かない場合があります。下記の手順にて水圧を抜いてください。

- 手順1: 分岐コックのレバーをとじる側に操作を行ってください。
- 手順2: タオルで分岐コックすべてを包み緊急止水弁のA部を図1のように動かしてください。
※この時、分岐コック内部に残っている水が少量出ます。衣服・家財などが濡れる場合があります。ご注意ください。
※給湯接続の場合、熱湯がでる恐れがあります。ご注意ください。
- 手順3: 給水ホースを分岐コックに取り付けた後、分岐コックのレバー操作をひらく側に操作を行ってください。

